

機 巢

メールマガジン

Vol. 3 秋号

岐阜工業高等専門学校 機械工学科 同窓会報

| | | |
|------|-----------------------------------|-------------|
| P-2 | 目次 & 機巢会会長挨拶 | 中野 廣幸 (4期生) |
| P-3 | 機械工学科の現状について | 山田 実 (24期生) |
| P-5 | 若鮎会50周年記念事業 中間報告 | 太田哲也 (6期生) |
| P-7 | 1期生の同窓会報告 | 桑原喜代和 (1期生) |
| | ①「M1 岐阜同窓会」の紹介 | 三口榮一 (1期生) |
| | ②「GTC 関西の集い」の紹介 | 井戸太加雄 (1期生) |
| P-9 | 卒業生からの便り | 片桐乾太郎 (6期生) |
| P-10 | 岐阜高専の校歌が変わってる？ | |
| P-11 | 「機巢」メールマガジンHP 閲覧方法&配信登録方法 編集後記 | |

機巢会会長挨拶

中野 廣幸



暑い夏も過ぎ、いよいよ実りの秋を迎えます。秋の夜長に、自らを振り返るのも良いと思い、一冊の古い紙のファイルを開きました。青色の背表紙に「ライフプランセミナー」と書いてあります。これは15年前に、私がパナソニックエコシステムズ(株)に在職中に作成したもので、49歳の時に受けた社内研修で使用した資料です。この研修の目的は、定年退職を10年後に控え、今後の自分の人生をどう描いていくかというシミュレーションをするというものでした。

この研修資料は、主に次の三つのテーマからなっています。

1番目に“自身の社外人脈と能力” 2番目として“マネープラン” 3番目は“健康維持”です。それぞれのテーマについて、自分自身の棚卸を行い、将来のライフプランを作るというものです。

驚くことに、15年前に自分が作成した内容は、私のこれまでの状況を正確に予言しており、この研修でシミュレーションしたことが、そっくりそのまま起こって現在につながっています。私は、会社を退職してからも、個人として仕事を続けておりますが、今の私の仕事・生活の全ては、15年前のセミナーの中で棚卸した人脈と、そこから二次的に広がった人の繋がりの中から展開されています。また自身の能力も、その人脈、仕事の生み出す環境の中で身に着けてきました。ちょうど小さな木が、その与えられた環境の中で枝を伸ばし、根を張って成長するありさまに似ています。

このファイルが教えてくれたことは、機会(チャンス)はすべて人との繋がりの中から生まれるということです。その機会が自分に訪れた時、その機会を生かせるかどうかは、その時の自分にその機会にふさわしい十分な能力があるかで決まります。しかし、自分の持っている能力の大きさは、なかなか自分では分かりません。自分にはちょっと無理かなと思うことでもやってみることだと思います。自分の能力を試すということです。無理と思ってもやってみることが、自分を大きく成長させます。

人脈は機会を与えてくれます。機会は能力を育ててくれます。能力は人脈を拡げてくれます。この古いファイルにある“人脈・能力”“お金”“健康”は全て大事な財産です。特に人脈と能力は、いくら使っても減らず、むしろ使うことで増えていく財産です。機巢会は“人脈”の宝庫です。皆さんもこの人脈を活用し、自身のネットワークを構築して、使っても減らないご自身の財産を大きくしていきましょう。

機械工学科の現状について

機械工学科長 山田実

朝晩だいぶ涼しくなり、岐阜高専の周りもそろそろ富有柿が実る頃になってきました。今回は、夏・秋の大きなイベントとして高専大会、インターンシップを取り上げます。

【高専大会】

今年は東海・北陸地区で全国高専大会が行われ、岐阜高専もバレーボール・テニスを担当しました。地元開催と言うことで応援に行かれたOB・OGもあるかと思えます。おととしから前期の期末試験が7月末ころに行われるようになり、お盆を挟むと慌ただしい練習日程となりますが、各クラブ次のページにあるような成績を挙げることができました。特に陸上部、柔道部の活躍は全国からも注目されています。また今年はテニス部、ソフトテニス部が団体3位に入っています。



全国高専大会剣道競技

ちなみに私は剣道部の顧問として豊田へ女子個人の選手を引率しました。全日本剣道選手権で過去優勝された方（つまり日本一の剣士）が審判長をされ、審判団も最高段位八段の先生が何名かみえるというもったいないような大会環境でした。

部活動については高専が独立行政法人になり教員の負担減、予算の削減の立場から様々な対策がとられてきました。ただし、部活動が青年期である高専5年間で学生の人間形成に大きな役割を担っていることは間違いありません。今回の全国大会でも剣道部の顧問の間ではそのような認識のもと、今後とも大会を盛り上げていこうということになりました。OB・OGにおかれましても、今後とも部活動にご支援、ご協力を賜りたいと思います。

【インターンシップ】

夏休みの8、9月をかけて4年生は企業に1、2週間程インターンシップをします。インターンシップは企業の様子や業務の話だけではなく、社会人としての心構え、進路の相談など様々なことを直接伺うことができる良い機会となっています。高専OBがみえる企業では座談会を開いていただける場合もあるようです。

今年は多くの学生が希望し、下記のような企業に行きました。

シチズン時計マニュファクチャリング、日本放送協会（NHK）、岐阜精機、中部電力、イハラサイエンス、東和製作所、鍋屋バイテック、樽見鉄道、ソニーエンジニアリング、旭化成、出光興産、アピ、ギフト加藤製作所、自衛隊、三菱重工業、サントリーホールディングス、未来工業、ANA ラインメンテナンステクニクス、日本特殊陶業、三菱電機メカトロニクスエンジニアリング、花王、竹田設計工業、JAL エンジニアリング、東レ・カーボンマジック

インターンシップの内容は、与えられた課題を解決するもの、現場改善、業務のお手伝い、CADの演習など様々です。短期間ではありますが、学生はそれぞれ何かを得て、すこし大人になって戻ってきます。

第51回全国高等専門学校体育大会成績結果

| 競技名 | 競技種目 | 成績 | 氏名 |
|-----------|---------------|------------------|--|
| 陸上競技 | 男子総合 | 5位 | |
| | 男子100m | 3位 | 三宅悠暉(3M) |
| | 男子200m | 5位 | 三宅悠暉(3M) |
| | 男子400m | | 日置智則(3D) |
| | 男子800m | 3位 | 深尾僚太郎(4C) |
| | 男子800m | 6位 | 末松杏介(4C) |
| | 男子1500m | 4位 | 深尾僚太郎(4C) |
| | 男子4×100mR | 2位 | 井藤修也(3D)三宅悠暉(3M)村上拓也(5D)西脇一輝(4D) |
| | 男子4×400mR | 2位 | 西脇一輝(4D)後藤 壮(4A)安田翔哉(5C)日置智則(3D)予選 西脇一輝(4D)日置智則(3D)後藤 壮(4A)村上拓也(5D)決勝 |
| | 男子400mH | 2位 | 後藤 壮(4A) |
| | 男子400mH | | 野村純一(5A) |
| | 男子3000mSC | 3位 | 根本一樹(4A) |
| | 男子3000mSC | 5位 | 吉田泰一朗(4D) |
| | 男子砲丸投 | 6位 | 西野一希(5M) |
| | 男子円盤投 | | 西野一希(5M) |
| | 男子円盤投 | 4位 | 戸崎太星(4M) |
| | 男子やり投 | 5位 | 安江歩夢(3A) |
| | 女子総合 | 2位 | |
| | 女子100m | 3位 | 関谷有紗加(5A) |
| | 女子200m | 4位 | 関谷有紗加(5A) |
| | 女子200m | 8位 | 原 美幸(4C) |
| | 女子800m | 7位 | 寺田美希(3A) |
| | 女子3000m | 8位 | 寺田美希(3A) |
| | 女子4×100mR | 3位 | 関谷有紗加(5A)原 美幸(4C)塚 公香(3C)夏目妃那子(1A) |
| | 女子100mH | | 塚 晴香(1C) |
| | 女子100mH | | 夏目妃那子(1A) |
| 女子走幅跳 | 7位 | 塚 公香(3C) | |
| 女子走高跳 | 5位 | 高木瑞花(2A) | |
| 女子砲丸投 | 5位 | 岩井 茜(3C) | |
| 女子円盤投 | 4位 | 岩井 茜(3C) | |
| 女子やり投 | 7位 | 古川芽依(2E) | |
| テニス | 男子団体 | 3位 | 岡本竣樹(5E)大野開世(5E)橋口喬太(5C) 原 希弥(5E)廣瀬有樹(5A)櫻井貴士(5C) |
| | 男子個人シングルス | | 岡本竣樹(5E) |
| | 男子個人ダブルス | | 鈴木理央(4E)前田浩丞(4D) |
| バドミントン | 男子団体 | | |
| | 男子個人シングルス | | 馬場恵助(3E) |
| | 男子個人ダブルス | | 馬場恵助(3E)木村千春(1E) |
| | 女子団体 | | |
| 女子個人シングルス | | 大里 柚(3A) | |
| 女子個人ダブルス | | 岡田萌花(4C)渡邊悠加(4A) | |
| ソフトテニス | 男子団体戦 | 3位 | 北川勢大(5M)五藤慎也(5D)菱田源弥(5D)岩川恭志朗(5C) 森 温輝(4A)高尾友貴(3A)戸崎洗平(3A)松尾泰我(3A) |
| | 男子個人ダブルス | 優勝 | 戸崎洗平(3A)菱田源弥(5D) |
| バレーボール | 男子 | | |
| | 女子 | | |
| 柔道 | 男子団体戦 | 2位 | 荒井大嗣(5E)山下勝也(5M)大内誠直(4C) 大坂磨秋(3M)加納諒一(3E)日下部完(2E)松久 聖(2M) |
| | 男子個人60kg級 | 3位 | 山下勝也(5M) |
| | 男子個人73kg級 | 3位 | 荒井大嗣(5E) |
| | 男子個人90kg級 | 優勝 | 加納諒一(3E) |
| | 男子個人90kg超級 | 優勝 | 大坂磨秋(3M) |
| | 女子個人63kg超級 | 優勝 | 傍嶋美月(5D) |
| 剣道 | 女子個人 | | 岡葉菜乃(3E) |
| 卓球 | 男子個人シングルス | | 大塚友貴(2M) |
| | 女子個人シングルス | | 大野友菜(1A) |
| | 女子地区対抗戦 | 2位 | 大野友菜(1A) |
| 水泳 | 男子400m自由形 | | 大野雄基(4D) |
| | 男子100m平泳ぎ | 5位 | 浅井祐輝(5E) |
| | 男子200m平泳ぎ | 4位 | 浅井祐輝(5E) |
| | 男子100mバタフライ | | 山本 凌(2D) |
| | 男子200m個人メドレー | | 山本 凌(2D) |
| | 男子100m背泳ぎ | 7位 | 河野真輝(4M) |
| | 男子100m背泳ぎ | | 本田優希(3D) |
| | 男子200m背泳ぎ | 4位 | 河野真輝(4M) |
| | 男子200m背泳ぎ | 7位 | 本田優希(3D) |
| | 男子400mメドレーリレー | | 宮脇敦士(2D)水野優希(3D)祖父江晃也(1D)石田珠海(1M) |
| | 学校総合 | | |
| 男子総合 | | | |

※成績結果は入賞(陸上競技・水泳は8位以上が入賞)のみ明記 4

「若鮎会」からのお知らせ

早いもので同窓会「若鮎会」が発足して来年で50年になります。今年4月13日に役員引継ぎ会議と同時に「若鮎会設立50周年記念事業実行委員会」が設立されました。機械工学科からは3名が参加することになりました。構成メンバーは下記の通りです。

| | | | | |
|------|----------------|--------------------------|----|-----------|
| メンバー | 実行委員長 | 高津正吉 (1E) | 委員 | 北川輝彦 (9D) |
| | 副委員長 (委員長代行兼務) | 岩井静克 (2M) | | 青木 健 (3M) |
| | 副委員長 (事務局兼務) | 坂井善幸 (3E) | | 太田哲也 (6M) |
| | 副委員長 | 坂口義博 (5C) | | 田中逸郎 (8E) |
| | 副委員長 | 入山 要 (1A) | | 前田裕司 (9D) |
| | | 古川一吉 (1A) (若鮎会会長) | | 所 輝雄 (5C) |
| | | 田中良和 (3A) (若鮎会 会計) | | 広瀬道夫 (7C) |
| | | 所 哲郎 (11E) (E科教員 学校との窓口) | | |

これまでに実行委員会が5回開催されましたので決定した事項をお知らせします。【決定は太字】

1. 記念式典 平成29年9月9日 土曜日 13:00~15:00

会場：長良川国際会議場 岐阜市長良福光2695-2 (1200名収容)

趣旨：多くの関係者が50年を振り返り祝う。

式典に来ていただく人：卒業生及び在籍者・家族・先生・事務職・技官等・政治家・市長
・自治会等関連企業・今後卒業生がお世話になる企業 等

予定として参加費は徴収しない。記念品を配布するなら¥1,000程度

2. 祝賀会&懇親パーティー 15:30~17:00

会場：岐阜都ホテル 長良川国際会議場に隣接 800名収容

会費：3,000円~5,000円の予定 (要予約)



長良川国際会議場



会議場メインホール



岐阜都ホテル

3. 記念誌発行 各期・各科の思い出の集合写真 + コメント

構成概要：表紙+発刊挨拶+恩師からの寄稿+全クラスの集合写真

- ・ コメント+教員の集合写真、部活の写真、
その他若鮎会・各科同窓会規約+編集後記
- 総ページ数 260頁

電子データとし、岐阜高専HPからのダウンロード方式とする。

平成29年8月初旬に岐阜高専ホームページに掲載

4. 地域貢献教育事業 『高木貞治博士を称える事業』 & 本巣市算数・数学甲子園

1. 本巣市算数・数学甲子園への関わり

- ・ 若鮎会賞を新設する。(小5~中3までで3回以上参加した人)

2. 本巣市算数ウォークラリーへの関わり

・ウォークラリー経路の案内板の設置

3. 生誕地に記念碑を設置する

・石碑もしくは記念ボードの設置（現当主の高木氏の了解必要）

4. 高木貞治記念室の移設

予算は未定、計画も決定ではなく現在進行中です。

5. OB・OGによる公開講座の開催

・JR岐阜駅近辺で一般市民向けの講座を開催。

・岐阜高専卒業生で活躍している講師候補者を模索中。

6. 中核人材育成塾 10周年特別講座の開催

・岐阜高専地域連携協力会主催の「中核人材育成塾」はOBが講師を務めて地域企業を対象に開催し今年で7年目を迎えた。昨年までに延べ2000人以上が受講した。

10周年は2019年であるが記念事業に関連させて特別講座の開設を検討する。

7. その他（記念グッズ作成・販売他）

・ピンバッジ作成（20×20mm） 疑似七宝仕様

・来年度の記念式典ではケース入りを追加発注する。600-1000個

・本科学生+専攻科生全員に配付する。1100個

・教職員+非常勤全員に配布する。130+100個

・今年の卒業式には配付したいということで、できるだけ早期の発注を希望されました。

以上、9月10日の実行員会で話し合われた事を報告します。

予算は次回11月4日開催時に若鮎会役員会と同時に決定させる予定です。

（報告者 太田哲也）

高専祭の案内

10月29日（土）、30日（日）に高専祭が開催されます。今年も専門展、5Mによる「ちゃんぽ」があります。専門展は校長賞が設けられていますが、昨年初めてそのなかのひとつ技術賞をいただきました。4年生はそのプレッシャーに負けないようにがんばっていますので、その出来を第2体育館まで見に来て下さい。「ちゃんぽ」は伊吹2階で開く機械工学科伝統のうどん屋です。クラスの力の入れようによって毎年お店の飾り付けや味、メニューが違います。今年はどうでなるでしょうか？

さらに学科紹介 in 高専祭として30日 12:30~15:00 に機械工学科棟2階共同利用スペースにて教員による学科紹介をします。現在の機械工学科の様子を紹介します。また、同じく30日のお昼には伊吹食堂にて本学同窓会である若鮎会によるOB・OGと教員との歓談の場所が設けられ、お寿司がいただける予定です。

例年通り部活・クラスのバザーなどもありますので、みなさまのお越しをお待ちしております。

（編集 山田）



機械工学科専門展の昨年度展示品



ちゃんぽ



1 期生同窓会の報告

副会長 1 期生 桑原 喜代和

来年は若鮎会発足50周年であり、一期生が岐阜高専を卒業してから50年が経過します。古希の歳を迎え、仕事から離れる人が多くなり、自由な時間が増えると共に、同級生との付き合いが貴重なものになってきています。

我々は十年以上前から、岐阜と大阪で年2回のクラス会を行っています。ちょっと多いような気もしますが、毎回、常連と久しぶりの方が集まって、旧交を温めています。

そこで、二つのクラス同窓会の様子を報告します。

機楽会ではクラス会の会費援助をしています。今後、この援助も利用していただき、各学年のクラス会の様子を聞かせていただくのを楽しみにしています。

①「M1 岐阜同窓会」の紹介

1 期生 クラス幹事 三〇 榮一

岐阜のM1同窓会を毎年8月に開催するようになって十年以上になります。関西の方でも毎年冬に開催されており、こちらの方はM1岐阜同窓会と称しています。

当初、機械工学科の先生だけでなく一般科目の先生にも出席頂きたいと思い、案内しました。恩師の方々のご高齢になっており、井道先生は一週間前に亡くなられ、森先生は直前に学会出席などで出席できなくなったことがありました。機械工学科以外の先生でご出席頂いたのは物理の中島先生、電気の越川先生でした。卒業時クラス担任の清水先生にもご出席頂きました。橋浦先生には毎回ご足労を頂いています。いつも学校や先生の近況などをお話して頂き、本当に感謝しております。

岐阜同窓会で出席者が最も多かったのは2008年8月の17名、今年は14名、関東、関西からも遠路はるばる来てくれました。同窓会は午後4時開始、その後カラオケに行き、解散となっています。

みんな古希の頃になり、同窓会の欠席理由に体調が悪い、宴会での話題も健康が多くなりました。他科の同窓会では一泊をやっており、2010年には鶴飼で泊りを行いました。その後、続けることが一番であり、現在のパターンが続きそうです。

Eメールでは、同級生から日常の園芸・菜園、旅行等の情報発信が行われ、他科の一期生との交流では、MEC合同のゴルフコンペに参加しています。



今年8月の同窓会のもの

②「GTC関西の集い」の紹介

1 期生 井戸太加雄

毎年1月か2月の土曜日に、機械工学科第1期生の中で関西在住者を中心とする10名余により催されているのが「GTC関西の集い」です。

そもそもの発起人は住友金属工業(株)勤務だった宇佐美恭平氏で、大阪市内の住金の社員福祉施設に関西在住者を呼び集めてくれたのが集いの始まりでした。会を重ねるうち、機械工学科第2期生でラウンジ経営の山田光彦氏も参加してくれるようになり、いつしか同氏経営の「ミュージックラウンジ ラサ」が会場となりま

した。

現在では山田氏がマスターとして、同氏の長女がラウンジママ、また次女がチーママとして、山田家総動員の形で接待にあたって来ています。キャパシティの関係で多数の参加は無理なので、現在、幹事を務める井戸が独断で声掛けをさせてもらっています。

午後 3 時に始まり、飲んで、食べて、話し合いは延々と続き、歌も出ます。最近は少し早くなりましたが、9、10時頃まで続きます。岐阜からの遠征組は、大阪で泊まる人もありますが、東海道線終電の 8 時過ぎまで付き合っています。

なお店名に「ミュージックラウンジ」の冠がついているのは、声楽専攻のママを始め、女性スタッフがいずれも音大や芸大で音楽専攻だったことによります。ピアノ生演奏による歌唱も可能ですので、興味のある方は平日に一度のぞいてみてください。



今年 1 月の同窓会のもの

「ラサ」の連絡先は次の通り。

大阪北新地「Music Lounge ラサ」

(大阪市北区曾根崎新地 1-11-20 北新地 HAT BOY ビルディング 8 階：電話 06-6341-0403)

クラス同窓会を開催して、親睦を深めよう！！

機楽会は、クラス同窓会の援助をしています！

同窓生の親睦を深める「クラス同窓会」を活発にするため、機楽会は会費援助をします。

金額：参加者 1 名あたり 1,000 円

援助の条件：

- ① クラスメンバー全員（可能な限り）に案内を出して行われた同窓会
- ② 最低参加人員は 10 名
- ③ 開催時の写真や参加者名簿の提出（機関誌メールマガジンに掲載）
- ④ 2 回目以降の補助は、前回の補助から 3 年以上経過後
- ⑤ 申請は機楽会のクラスの幹事または幹事より委託された者

若鮎会 50 周年記念式典後に同窓会を企画しましょう！

若鮎会実行委員会では、懇親会終了後に 2 次会のクラス別同窓会を企画しています。

幹事の方が申し込みをするだけで、**・会場・宿泊の手配**をします。

予算は宴会付き 1 泊で ¥15,000 くらいです。

どうぞご利用ください！

卒業生からのたより

6期生 片桐 乾太郎

私は、岐阜県山県郡（現在の山県市）高富町の出身で味噌、たまり醸造をしている家に生まれました。父親は明治生まれで仕事一徹。そんな商売人の大変さを見てきて商売人ではなく、エンジニアの道を目指し岐阜高専に入学しました。実家は二代続いた店でありましたが、父が亡くなり廃業となりました。長男としての責任は感じていますが、父親は黄綬褒章を授かり借金も残さず、自分の好きな道に進むことに何も反対しなかったことに感謝をしています。現在、そんな実家には母親が90歳を過ぎて住んでおり、私は現在の住まいである名古屋のマンションと実家を行き来しています。

私が岐阜高専に入学した昭和43年には1期生の先輩方が卒業されました。岐阜高専が50周年と半世紀の長きにわたり、多くの後輩たちが世に出て活躍しておられることと思いますが、これは教えて頂いた先生方、学校関係者の皆様、多くの先輩諸兄のお陰であることを感謝したいと思っています。私は入学当時は2年程、寮に入寮していましたが、この寮生活では、良き先輩たちに面倒を見てもらい、また他の学科の先輩や同期の仲間との交流も忘れられない思い出となっています。特に、電気工学科の同年の西脇正樹君とは、家族ぐるみのお付き合いをさせてもらっていましたが、彼はKYB株式会社の常務執行役員にまでなったのですが、3年前に中国で心筋梗塞により他界しました。彼が亡くなる当日の3時間前までメールを交わしており、本当にショックでした。彼のことを思うと、これからの人生は健康に留意し、微力ながらも世の中のためになり後世に残る仕事をしたいと思うようになりました。

私は昭和48年4月で株式会社日立製作所に入社し、愛知県尾張旭市にある旭工場に勤務しました。64才になったいまは、日立製作所にいたときに取得したISOの審査員資格を生かして品質と環境の審査員をしています。同じ機械工学科の3年先輩である加納猛先輩が同じ審査員をされてることに驚きました。世の中は狭いものです。また、社会人になってから始めた弓道では、たまたま、日立化成工業株式会社で当時社長であった横山亮次様との縁で旭工場に勇美館弓道場を作らせてもらい、また平成6年の愛知国体では、地元につながる尾州竹林流の演武をさせていただきました。（写真参照）



平成6年10月愛知国体弓道競技会における模範演武
（於 愛知県津島市錬成館弓道場）

この尾州竹林流というのは、京都三十三間堂で有名な通し矢で日本一になった星野勘左衛門の流れをくむ由緒ある流派で、魚住文衛範士十段とご長男である魚住一郎範士九段の両先生のご指導を頂きました。お二人は一宮市出身で既に他界されていますが、今日の私があるのは両先生のご指導のお陰と感謝をしています。平成24年、ちょうど60才の年に岐阜で国体が開かれることもあり、実家の岐阜県に所属を移籍させてもらい国体の手伝いをして、次の年から国体強化部長を拝命、二年後の長崎国体で成年女子としては岐阜県初の全国制覇を果たしてくれました。

現在は仕事と弓道で毎日忙しい日々を過ごしていますが、今年は30年ぶりに東海地区の予選会を勝ち抜き、今年9月に明治神宮中央道場で開催される弓道日本一を争う天皇杯に岐阜県代表で出場することが決まりました。今回は、二回目の出場になり出るからには優勝を目指し日々修練に励んでいます。実は、成年女子の国体優勝や私が天皇杯出場が果たせた勝因には、ISOの目標管理と共通する取り組みが生きていると思います。しっかりした目標管理を行い、具体的かつ明確な目標設定と強い意識を持ち続けることで、思いの一番強いものが勝者になると確信しています。

このように充実した日々を過ごせるのも、田舎の母親が元気で、そして家内の理解があればと感謝しています。これからは、自分の生活を更に充実させながら、仕事でも、弓道でも、少しでも世のためになるよう努めて行きたいと思っています。

この記事を読んでいただく皆さんも健康に留意され仕事に、趣味に充実した日々を過ごしていただきたいと願っています。

なお、今年の全日本弓道選手権大会で優勝を果たせた暁には追伸で記事を上程させて頂きたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

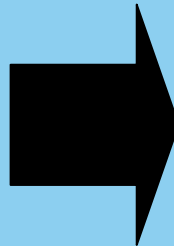
以上

岐阜高専の校歌が変わっている???

3年前になるが、岐阜高専創立50周年の記念式典の行事の中で校歌の斉唱があった。この時、参加された卒業生から、「知らない間に校歌が変わった。」という声がよく聞こえてきた。今回、この場をお借りして校歌変遷の経緯をご紹介したい。まずは、新旧の校歌を振り返る。(正式には新校歌が決まるまで校歌は制定されていなかったが、ここでは、それまでの岐阜高専の歌が校歌という認識が多数であったため、あえて新旧の校歌とした。なお赤色部分が変更箇所)

旧校歌 (正しくは岐阜高専の歌)

1. 若鮎のごと はつらつと
希望は燃えて 糸貫に
善意と良識 育てんと
つどう若人 ここにあり
ああ わが高専 岐阜高専
2. 五つの春秋を 貫きて
エンジニアの道 きわめんと
究理と創意を ひとすじに
はげむ若人 ここにあり
ああ わが高専 岐阜高専
3. あふれるファイト この胸に
生産性の 向上と
技術革新 目指しつつ
きそう若人 ここにあり
ああ わが高専 岐阜高専



新校歌

1. 若鮎のごと **糸貫の**
希望の河を **泳ぎ行く**
倫理と良識 育てんと
集う若人 ここにあり
嗚呼わが**学舎** 岐阜高専
2. 伊吹おろしを **帆に受けて**
溢れる情熱 この胸に
真理の海を **目指さんと**
励む若人 ここにあり
嗚呼わが**礎** 岐阜高専
3. **緑の本業に** **育まれ**
五つの春秋 **貫きて**
技術と知性を **磨かんと**
競う若人 ここにあり
嗚呼わが**母校** 岐阜高専

学生時代には気にしなかったが、設立初期の教官からは、「旧校歌は誰も結婚式で歌わない、この歌詞は何とかした方がいい(時代にそぐわない?)」という声が上がっていたそうである。特に3番目の歌詞には“生産性の向上”というようなかつての高度成長時代を思わせるフレーズもあった。ところが長い間、作詞者である初代校長の飯沼弘司先生に遠慮があったためか、誰もこの件を正式に言い出す者はいなかった。そして6代目校長として榊原建樹先生が赴任されてから、見直しが始まったようである。噂では勝手に変えた、ということも囁かれたが決してそうではなかった面もある。榊原先生は著作権者である飯沼先生のご遺族に校歌改訂を行いたい理由や必要性などを丁寧に説明され、それに対してご遺族からは賛同と感謝の手紙までも貰われたとのことである。

以上のようなやり取りも経て現在の校歌(正式に校歌と規定)が制定された。なお、皆がよく歌い、記憶している1番の歌詞まで変える必要があったのかと思うのは私だけではないだろうが。

(編集: 中尾賢治)

機巢会メールマガジンへの登録のお願い

機巢会では同窓会報として機巢会メールマガジンを発行しています。下記からメールアドレスを登録していただくとメールマガジン発行のお知らせや同窓会に関する案内をメールで受け取ることができます。ぜひ登録して下さい。また、お知り合いの方へ登録の紹介をお願いします。

登録フォームはこちらです。

<https://i-magazine.jp/bm/p/f/ta.php?id=kaiho>
あるいは
「機巢会 メールマガジン」で検索

【機巢】岐阜高専 機械工学科卒業生向けメルマガ

こちらより登録・解除を行っていただけます。

E-mailアドレスを入力し、ご希望内容のボタンをお押し下さい。

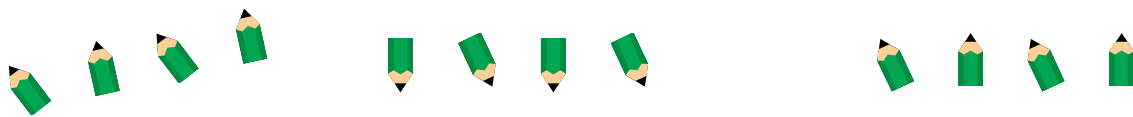
登録 解除 編集

なお、機巢会メールマガジンは機巢会ホームページからいつでも見ることができます。

「岐阜高専ホームページ」→「学科・専攻科」→
「機械工学科」→「機巢会（同窓会）」

登録画面

http://www.gifu-nct.ac.jp/mecha/main/ob/mail_magazine.html



編集後記

第3号を発行することができました。年4回春夏秋冬の季節の変わり目に発行出来たら良いと当初考えていました。編集委員も記事集めや校正が少し慣れてきたようです。皆さんに楽しく読んでもらえるよう、話題や記事を寄せていただければありがたいです。

編集委員

- 6M 太田哲也 機械工学科の同窓会「機巢会」の役員会に係わってちょうど1年。全学科の同窓会「若鮎会」の50周年記念事業にも参加することになりました。仕事とは違い、新たな楽しみを見つけたようで張り切っています。
- 8M 犬飼宏好 私が知っている岐阜高専の校歌が校歌ではなかった事を知り、目から鱗でした。多くのメルマガ読者も同じ思いではないですか？これからもいろいろな話題を取り上げ、楽しい紙面作りを心がけます。
- 15M 中尾賢治 皆様からの積極的なお便り、お待ちしております。
- 24M 山田 実 昨年の高専祭から、環境都市工学科棟・体育館・剣道場の改修、エレベーターの設置などがあり少し学校の雰囲気が変わるかもしれません。どのように違うか探しに来てください。
- 33M 伊藤友裕 みなさんが本誌をどう読まれているか気になる今日この頃です。

発行日／2016年9月30日

責任者／中野廣幸

発行／岐阜工業高等専門学校機械工学科同窓会「機巢会」編集室

〒501-0495 岐阜県本巣市上真桑2236番地2

TEL 058-320-1343 FAX 058-320-1349

<http://www.gifu-nct.ac.jp/mecha/main/ob/ob.html>